

## 平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名	能勢町
実践研究校名	久佐々小学校

【公開授業】公開日：平成25年10月31日  
対象学年：5年

<p>(教材・教科書名) Hi, friends! 1 Lesson6 “What time do you get up?” (単元名) 自分の1日を紹介しよう</p>	<p>(本時の指導の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1日の過ごし方の動作を知る。</li> <li>• 1から60までを表す言葉を知る。</li> <li>• 自分の1日を紹介することができる。</li> <li>• 発表を通して、相手とのコミュニケーションを楽しむ。</li> <li>• 世界には時差があることに気づき、世界の様子に興味をもつ</li> </ul>
--	---

(本時の授業において工夫した点)

- 1日の過ごし方と時刻について、自分のオリジナルの表現を考えた。
- インタビューゲームでは、児童ができるだけ多くインタビューできるように、ゲーム後のチェックを楽しめる要素を取り入れた。
- 外国の子どもたちの過ごし方について、具体的に外国の様子を伝えた。

(授業を終えた教員の感想)

- 児童が積極的にいきいきと活動できた点はよかった。
- 動作を表す言葉だけでなく、“What time do you ...?”とそれに対する答えの表現をたっぷり練習したこともあり、児童の発話やゲームでも自信をもってとりくめた。

【研究協議会】

<p>(テーマ) 「魅力ある外国語活動の授業づくりに向けて」 • 学級担任が中心となったこれからの外国語活動の進め方とは • 児童が自分の思いを伝え、相手の思いを伝え合う活動を創るためには</p>	<p>(指導・助言者) 加賀田 哲也先生 (大阪教育大学) 遠藤 克俊 (能勢町教育委員会)</p>
--	--

(研究協議会で出された意見)

- 教師が、児童の学習のモデルになることが大切。
- 学級担任が授業を進行し、ALTが発音や言語面での学習を担うといった役割分担を明確にできていた。
- 授業のテンポがよく、児童も飽きずにとりくめた。

(まとめ)

1. 児童の発表に対して、簡単な問いかけを教師の方から出してみるとよい。
2. 初めのあいさつやゲームの中で、児童が主導権をもって進める場面を作っていく。